

2022 安全報告書

アルピコ交通 安全への取組

【鉄道事業】



「安全はすべてに優先する」

この安全報告書は、2021 年度（令和3年度）に実施した当社鉄道輸送の安全確保のための
取り組みや安全の実態を取りまとめたものです。皆様のご意見・ご感想をお寄せ下さい。

アルピコ交通株式会社

－目 次－

■安全運行の誓い【安全報告書の公表にあたって】	2
1.輸送の安全確保に関する基本的な考え方	3
2.安全管理体制	4～6
3.安全確保への取り組み	7～9
4.事故・障害に関する報告	10
5.安全対策	11～13
6.ご利用のお客様、沿線の皆様との連携とお願い	14～16
■安全報告書へのご意見等について	17



アルピコグループ経営理念

アルピコグループは、信州に暮らす人々とその素晴らしい自然環境を愛し
「安全・安心」「便利」「快適」「楽しさ・ときめき」「知識」の提供を
通じて豊かな地域社会の実現に貢献します。

■安全運行の誓い【安全報告書の公表にあたって】

日頃からアルピコ交通のバス・鉄道をご利用いただき、誠にありがとうございます。

また、バス停や交差点周辺での大型バスの運行や、鉄道踏切などに対するご理解とご協力、あらためて感謝申し上げます

2021年8月の豪雨により、鉄道上高地線の田川橋りょうが被災し、運行出来なくなるという事態となりました。やむなく一部区間でバスによる代行輸送を行うこととなり、ご利用されるお客様には、大変なご不便をお掛け致しました。おかげさまで、地元の松本市をはじめ国や県などからのご支援を賜り、令和4年6月10日に全線開通の運びとなりました。ご支援いただいた皆様、ご協力いただいた皆様、安全に復旧工事を進めていただいた関係各位に深く感謝申し上げます。

2021年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響が続き、減便している都市間高速バス、貸切バスの相次ぐキャンセルなど大変厳しい経営環境でした。まだまだ影響は残りますが、観光路線のお客様も徐々に戻りつつあり、少しずつ明るい兆しも見えてきています。

このような状況の中、お客様に安心して利用していただけるよう、様々な感染症対策を進めるとともに、接客レベルの向上、安全運転技術の習得に努めて参りました。引き続き、社員一人一人が同じ方向を目指して、お客様の信頼に応えられるよう、地道な努力を惜しまず取り組みを進めて参ります。

長引く新型コロナウイルス感染症といった新たな脅威、頻発し激甚化する自然災害に対し、従来の慣例にとらわれることなく柔軟に対応できるよう、社内の体制を整え、お客様をはじめ、関係する皆様の当社のバス・鉄道に対する信頼にお応えすべく、安全管理体制と接客レベルの更なる高度化を目指し、全社員一丸となって業務に当たって参ります。

引き続きのご利用を心よりお願い申し上げます。

2022年6月



アルピコ交通株式会社
代表取締役社長

小林 史成

1. 輸送の安全確保に関する基本的な考え方

当社の経営理念でもある『安全・安心』なサービスの提供を第一に考え、輸送の安全を確保するための基本的な姿勢を示した「安全基本方針」及びその行動の基本となる「安全行動規範」を定め、役職員に周知・徹底し、安全輸送に努めています。

安全基本方針

安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに鉄道施設、車両及び職員を総合活用して輸送の安全を確保します。

安全行動規範

- ① 一致協力して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めること。
- ④ 職務の実施に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをすること。
- ⑤ 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦すること。

2021 年度の安全方針・安全重点施策・行為目標

2021 年度は、次の安全方針・安全重点施策・行為目標を掲げ、全従事員に周知して目標達成に向け取り組みました。

◎安全方針

「安全はすべてに優先する」

～安全で安心な輸送を提供し続けることが当社の使命である～

◎安全重点施策

『有責事故・インシデントゼロの継続』

◎行為目標

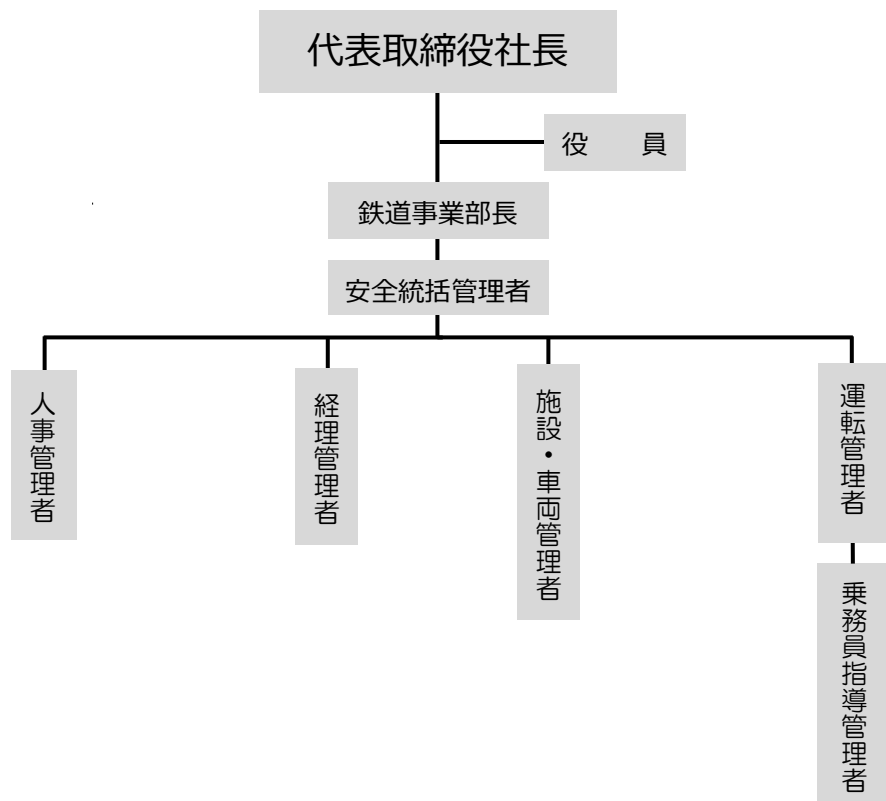
- ・重大事故に直結する「小さな事故の芽」をなくすため、関係者からのヒヤリハット提出を促進するとともに、その対策を確実に行います。
- ・安全かつ定時輸送を確保するため、鉄道施設の検査や管理修繕を徹底し、内部要因による輸送障害件数を前年比半減します。（12 件→6 件）
- ・ヒューマンエラーに起因する事故を防止するため、係員に対する教育や管理を確実に実施します。

2. 安全管理体制

安全の確保に関する体制

当社は、代表取締役社長をトップとする安全管理体制を構築・運用しています。この組織体制の中で、代表取締役社長や安全統括管理者、各管理者の責務を明確にしたうえで、各々が安全確保のための役割を担っています。

< 安全管理体制図 >



各管理者の責務

役 職 名	責 務
代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
鉄道事業部長	安全統括管理者と輸送の安全確保に関する業務を統括する。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設・車両管理者	安全統括管理者指揮の下、施設・車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	運転管理者指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
人事管理者	要員計画を検討する。
経理管理者	予算計画、投資計画を検討する。

経営責任者による職場巡視

経営責任者による職場巡視を定期的に行い、安全管理体制の状況を確認するとともに、職員との意見交換を実施してコミュニケーションを図っています。



経営責任者による職場巡視①



経営責任者による職場巡視②

添乗指導・巡視

管理者による添乗指導及び巡視を定期的に行い、技術や接遇面・安全面における意識向上を図っています。



管理者による添乗指導



管理者による巡視

運輸安全マネジメント推進会議

運輸安全マネジメント推進会議を四半期ごとに開催し、輸送の状況や運転事故・輸送障害・ヒューマンエラー・ヒヤリハット事案について討議するとともに、四半期毎の行動計画を周知することにより、安全管理を行っています。



運輸安全マネジメント推進会議

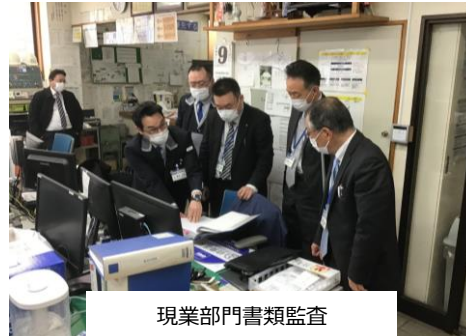


運転士によるヒヤリハット報告

内部監査の実施

安全管理体制の適合性及び有効性を確認するため、経営管理部門及び現場部門に対する内部監査を実施しています。

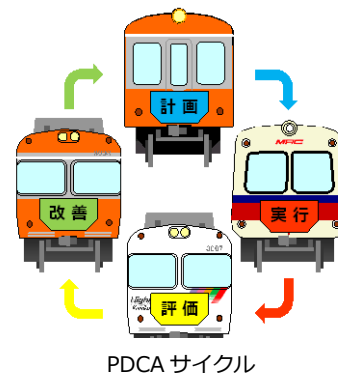
2021 年度は、代表取締役社長及び安全統括管理者等の経営責任者に対し、インタビューによる監査を実施した他、現場各部門については、インタビュー及び関係書類の監査を実施しました。



マネジメントレビューの実施

安全管理体制が適切かつ有効に機能しているかを確認し、必要に応じて見直し・改善するため、各管理者から代表取締役社長へ実施結果報告を行っています。

安全管理体制は、計画（Plan）⇒実行（Do）⇒評価（Check）⇒改善（Act）の体制（PDCA サイクル）を維持していくことが大切です。安全管理体制については、現行の体制を是とするのではなく、常に見直し改善に取り組んでいます。



3. 安全確保への取り組み

異常時対応訓練

異常発生時等に適切な対応ができるよう様々な異常事態を想定した訓練を実施しています。2021 年度は、松本警察署員を講師に招いてのテロ発生対応訓練、地震対応訓練等、人命救助を最優先に迅速かつ的確な初動体制を整えられるよう訓練を実施しています。



テロ発生対応訓練



地震対応訓練

故障対応訓練

全鉄道従事員を対象に、異常時が発生したときの応急処理方法等を訓練することで、緊急時にも冷静かつ適格な判断・処置が行えるよう訓練を実施しています。



戸閉回路故障対応訓練



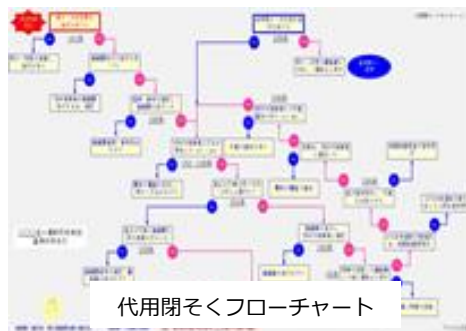
信号保安装置故障対応訓練

代用閉そく訓練

信号故障で通常の閉そく運転ができないとき、指導票や指導券を使って、閉そく区間を列車が安全に走れるよう代用閉そく（指導通信式）の訓練を実施しています。また、実際に代用閉そくを施行する際、手順や手続きの流れなどを視覚的にわかりやすくするため、フローチャートを作成し、各停車場に設置しました。



代用閉そく訓練



代用閉そくフローチャート

運輸安全マネジメント制度に関する教育

全鉄道従事員を対象に、運輸安全マネジメント制度の趣旨等の理解を深められるよう導入の経緯・取り組み・ヒヤリハット情報の重要性について、教育を実施しています。また、知識やスキルを身につけるため、NASVA ガイドライン・リスク管理・内部監査外部セミナーを受講しました。

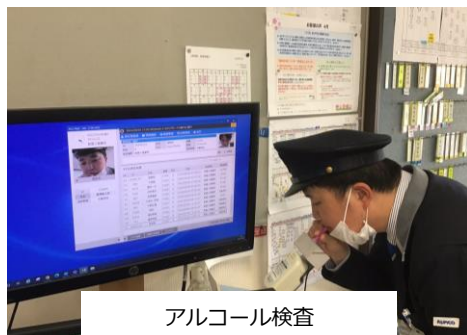
合同安全講習会

施設保守部門では、事故や労働災害等の事例研究を行い事故防止に努めるよう協力会社を含めた合同安全講習会を開催しています。

※2021 年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、書面開催にて行いました。

アルコール検査

乗務開始前にアルコール検知器を使用し、酒気を帯びていないことを確認後、点呼執行者との対面点呼により健康状態の確認を行っています。



アルコール検査



乗務開始前点呼

身体・適性検査

全鉄道従事員を対象に、定期健康診断や夜間従事者検診による身体機能の確認、精神機能検査による適性の確認を実施し、運転関係係員の資質の管理を厳正に行っています。



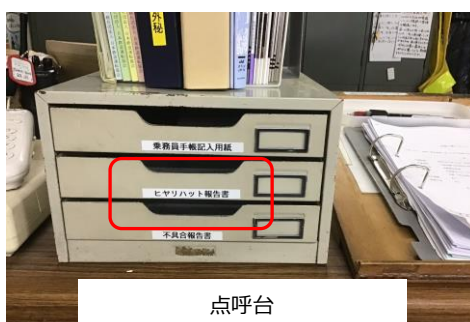
クレペリン検査



注意配分検査

ヒューマンエラーに対する取り組み

ヒューマンエラーやヒヤリハットが発生した際、速やかに報告書の作成を開始できるように、点呼台に報告書を常時準備しているほか、報告されたヒヤリハット事案のカメラ映像を検証するとともに、四半期ごとに収集した情報を乗務員自ら分類・整理を行い、発生箇所や傾向をつかむなどの分析を行っています。



点呼台



前方記録カメラ

サービス介助士

ご高齢のお客様やお身体の不自由なお客様に対して、安全・安心にご利用いただけるようサービス介助士の資格を取得しています。

また、資格の有無に関係なく、全鉄道従事員を対象にした車いす対応訓練も定期的を実施しています。



サービス介助士資格者バッジ



車いす対応訓練

無事故表彰

経営責任者、全鉄道従事者及び協力会社が輸送の安全確保に一丸となって取り組んだ結果、北陸信越運輸局長から鉄道事業者運転無事故表彰を頂きました。今回の受賞は、2000年9月1日から2021年8月31日までの対象期間中、無事故であったことに対する表彰で、当社は、7期連続（21年）の受賞となりました。



表彰式



無事故表彰

各安全運動への取り組み

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ・春の全国交通安全運動 | 2021年4月6日~4月15日 |
| ・安全輸送・サービス向上強化旬間 | 7月13日~7月23日 |
| ・秋の全国交通安全運動 | 9月21日~9月30日 |
| ・年末年始の輸送に関する安全総点検 | 12月10日~2022年1月10日 |

各安全運動を契機に、従業員一人ひとりが各職場で何をすべきかを再考することで輸送の安全性の向上に、努めるよう意識の高揚を図りました。

また、各安全運動中は、経営責任者が職場を巡視し、実施状況の確認や指示を行いました。
各運動中の主な取り組み事項は、次のとおりです。

- ・テロ、列車妨害防止対策による車両、施設、沿線の巡回強化
- ・車両、線路設備、構造物、電気設備の点検整備
- ・利用客乗降時の監視等安全確保の徹底
- ・確実かつ厳正な点呼執行（健康状態、アルコール検査、指示事項）
- ・規程類の学習、非常・故障訓練の実施
- ・基本動作の再確認及び徹底
- ・経営責任者による職場巡視

4. 事故・障害に関する報告

鉄道運転事故

最近 3 年間に、発生した鉄道運転事故の推移。

年 度	2019 年度	2020 年度	2021 年度
事故件数	0	0	0
死傷者	0	0	0
うち死亡者	0	0	0

輸送障害・インシデント（事故の兆候）

事象①：輸送障害

日時：2021 年 8 月 1 日 16 時 53 分

発生場所：松本～新島々間

概要：沿線に落雷があり、新村変電所が故障となり、信号制御も不能となった。

運休本数：12 本

対策：各設備の予備部品確保

事象②：輸送障害

日時：2021 年 8 月 13 日 19 時 25 分

発生場所：新島々駅構内

概要：新島々駅構内で倒木が発生し、前途支障となった。

運休本数：9 本

対策：支障する恐れのある樹木の伐採

事象③：インシデント（施設障害）

日時：2021 年 8 月 14 日 16 時 31 分

発生場所：西松本～渚間 田川橋りょう

概要：列車通過時に違和感あり、点検したところ、一部橋脚の座屈と桁及び軌道に変状が生じていた。

運休本数：17 本

対策：鉄道総合技術研究所による現場調査実施

事象④：輸送障害

日時：2022 年 2 月 4 日 6 時 48 分

発生場所：下島～波田間 山道踏切

概要：運転指令所連動盤にて在線していないにもかかわらず軌道回路が点灯、点検したところ、レールの折損を確認した。

運休本数：8 本

対策：全踏切道の目視による点検実施

※ご利用のお客様には、大変ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

行政からの指導

2021 年度は、行政指導はありませんでした。

列車妨害等の発生

2021 年度は、列車妨害行為等の発生はありませんでした。なお、交通安全と列車妨害行為の禁止を目的として、小学生を対象とした「乗り方教室」を開催し、事故防止講話を行っています。



5. 安全対策

新型車両 20100 形導入

3000 形車両の老朽故障による輸送障害を未然防止するため、東武鉄道より車両 2 両を譲受して先頭車化・ワンマン化・機器更新等の改造工事を行い、アルピコ交通 20100 形電車として運行を開始しました。



20100 形車両



20100 形出発式

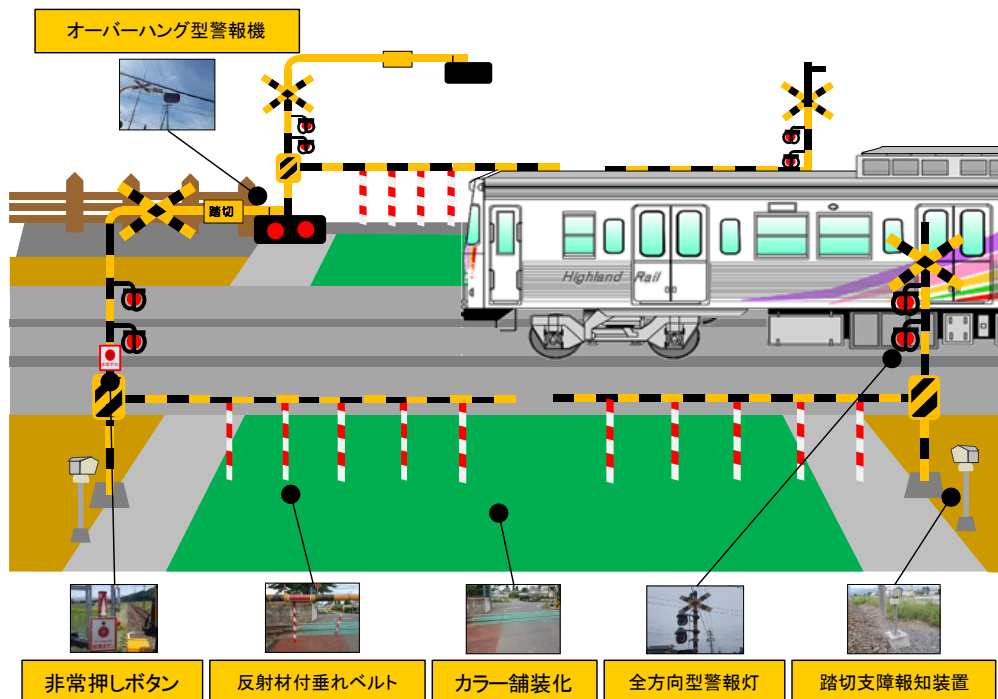
踏切道の安全対策

上高地線内の踏切数は 53 箇所あり、踏切の種別内訳は、下記のとおりです。

- ・第 1 種踏切道〈警報機、遮断機付き〉 47 箇所
- ・第 3 種踏切道〈警報機付き・遮断機無し〉 1 箇所
- ・第 4 種踏切道〈警報機、遮断機無し〉 5 箇所

列車運転士へ踏切の異常を通報する踏切障害物検知装置及び非常押ボタンを順次設置しています。

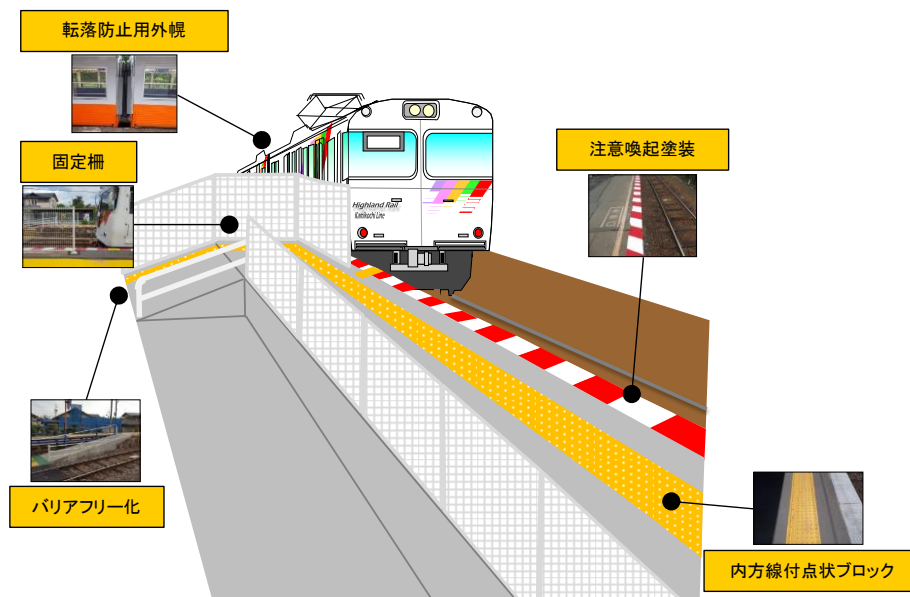
また、道路からの視認性向上及び警報中の踏切横断の防止を目的として、全方向型警報灯、オーバーハング型警報機等の導入及び反射材付垂れベルトを設置しています。



ホームの安全対策・バリアフリー化

お客様のホームからの転落及び列車との接触を防止するため、車両の連結部分に転落防止用外幌取り付け、ホーム端部に注意喚起塗装（縞模様）を行っているほか、固定柵の設置及び内方線付点状ブロックを整備しています。

また、すべてのお客様がご利用しやすい鉄道を目指し、ホームスロープこう配の緩和や舗装のやり直しによる起伏の低減、列車へのスロープ板搭載なども実施しています。



車両の定期検査

安全に列車を運行するため、車両は車庫での日常点検・整備のほか、定期的に分解・点検・整備を実施しています。



自然災害対策

自然災害による事故を未然に防ぐため、風速計・水位計の各情報を収集するシステムを導入し、基準値を超えた場合には列車の運転を規制し、安全を確保しています。



自動体外式除細動器（AED）

急病人等への救急救命活動を円滑に行えるよう新島々駅、波田駅に設置し、係員に対する教育訓練も実施しています。



6. ご利用のお客様、沿線の皆様との連携とお願い

テロや列車妨害行為等防止へのご協力とお願い

テロや列車妨害行為の防止を目的として、列車内・駅構内・沿線の巡回等を強化するとともに、駅構内や列車内に防犯カメラを設置することで、鉄道輸送の安全確保に努めています。

不審物や不審者等を見かけたときは、鉄道従事員又は警察へ通報をお願いします。



待合室防犯カメラ



車内防犯カメラ

踏切通行時のお願い

毎年、踏切への無理な進入による遮断かんの折損や踏切内での停滞等が発生しています。踏切事故防止のため、道路交通法に則り踏切の手前では、必ず一旦停止の上、左右を確認していただくとともに、警報機が鳴り始めましたら踏切内へ進入しないよう皆様のご協力をお願いします。踏切内及びその周辺で異常・非常事態が発生した際は、踏切支障報知装置の「非常ボタン」を強く押してください。

なお、踏切支障報知装置が未設置の踏切で異常・非常事態が発生したときは、すみやかに新島々駅【TEL 0263-87-3166】までご連絡をお願いします。



折損した遮断かん



踏切支障報知装置

線路沿い近接工事

鉄道線路沿いには、高压電線等が架設されており、電線に接触すると人命にかかわるほか、列車の運休や遅延等が発生し、多くの皆様へのご迷惑となります。

また、感電事故だけでなく線路脇物品の倒壊や鉄道施設の損傷等により、列車の運行に多大な支障をきたす恐れがあります。

上高地線の近くでの工事をご計画される施主・施工者の皆様におかれましては、お早めにアルピコ交通(株)鉄道事業部【TEL 0263-26-7311】までご連絡をお願いします。



近接工事



列車見張員

安全確保のための作業

鉄道の安全を支えていくためには、施設・設備の日常のメンテナンスが不可欠であり、列車を運行していない夜間等に、作業を行うことがあります。

それらの実施により沿線の皆様には、ご迷惑をお掛けする場合がございますが、鉄道の安全確保に欠かせない作業であることをご理解いただきますとともに、ご協力を賜りますようお願いいたします。



夜間軌道整備作業



レール運搬作業

倒木災害防止のお願い

木が線路に倒れこむと列車の運休、電線が切断するなど施設被害が発生します。私有地の樹木が原因で事故や障害が発生した場合、当社から地主様に復旧費用を請求しますので、樹木管理の徹底をお願いします。

なお、伐採作業時に木が線路側に倒れる場合がありますので、線路の近くで伐採する時は、アルピコ交通(株)鉄道事業部【TEL 0263-26-7311】までご連絡をお願いします。



私有地山林からの倒木



支障木伐採作業

新型コロナウイルス感染症対策のお願い

新型コロナウイルス感染症予防並びにお客様が安心して公共交通をご利用いただけるよう光触媒コートによるウイルス感染対策を行っているほか、新型車両 20100 形にイオン発生装置（プラズマクラスター）を搭載しています。※プラズマクラスターはシャープ株式会社の商標です



列車内抗ウイルス施工



イオン発生装置

こども 110 番の駅

日本民営鉄道協会等と連携し、登下校時の安全を確保するため、助けを求めてきた子供を保護する『こども 110 番の駅』（2 駅）の取り組みを行っています。



新島々駅



波田駅

お客様の声

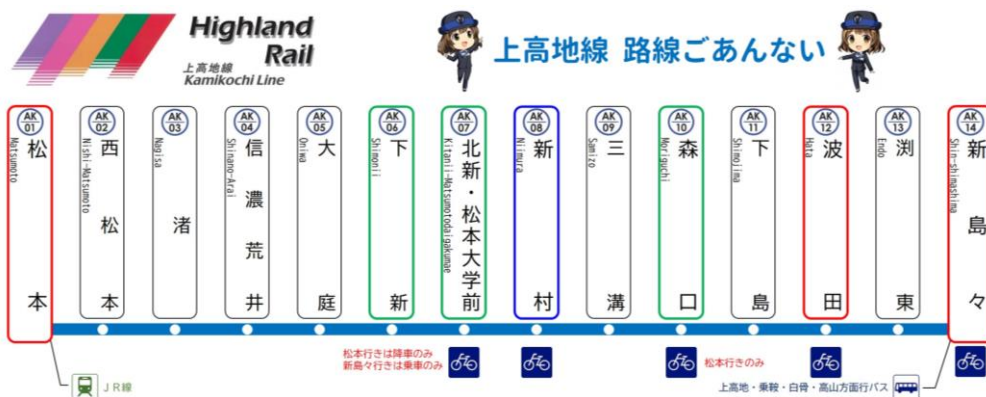
駅窓口や列車内に「お客様の声はがき」を備付けているほか、当社ホームページ等でお客様のご意見を賜っています。頂戴したご意見は、CS 担当社員を中心として社内で展開（お客様の声会議）し、安全とサービスの向上に役立てています。



お客様の声はがき（列車内）



お客様の声会議



■安全報告書へのご意見等について

ご感想、当社の安全への取り組みなどに、対するご意見をお寄せください。
下記のほか、駅窓口や列車内に備付けの「お客様の声はがき」でも承っています。

アルピコ交通株式会社 鉄道事業部

TEL : 0263-26-7311 (直通)

■ 9:00~17:00 (土日祝日を除く)

お問い合わせフォーム : <https://www.alpico.co.jp/traffic/contact/>